

倫理審査委員会議事摘録（2025-7）

【日時】 2025 年 7 月 22 日（火） 午後 5 時 00 分～午後 7 時 30 分

【場所】 病院本館 2 階 共用カンファレンスルーム

【出欠者】

◎委員長 ○副委員長

	氏名	性別	区分	出欠確認	
◎	神田 芳郎	男	学内	会場	○
	西 昭徳	男	学内	会場	○
○	三好 寛明	男	学内	会場	○
	吉田 史章	男	学内	会場	○
	川山 智隆	男	学内	TV 会議	○
	淡河 恵津世	女	学内	TV 会議	○
	渡邊 順子	女	学内	TV 会議	○
	益守 かづき	女	学内	TV 会議	○
	室谷 健太	男	学内	会場	○
	吉井 千穂	女	学内	会場	○
	末金 茂高	男	学内	会場	○
	西原 慎治	男	学内	-	-
	朝見 行弘	男	学外	会場	○
	北村 哲	男	学外	TV 会議	○
	古賀 清	男	学外	会場	○
	衛本 みどり	女	学外	会場	○
出席：○ 欠席：×					
第 1 号委員： 11 名 第 2 号委員： 2 名 第 3 号委員： 2 名					
男性： 10 名 女性： 5 名					

【陪 席】 医に関する倫理委員会事務局/臨床研究センター

金子、國武、内藤、城野、興津、別府

委員長より、本日の会議は人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針第 8 章倫理委員会
第 17 2「構成及び会議の成立要件」の全てを満たして会議が開始された。

【審査案件】

1)

研究番号	25082		
申請区分	新規		
単独/多機関	多機関共同研究（学内一括審査） 代表機関：久留米 共同研究機関：1		
研究課題名	自己炎症性疾患・自己免疫疾患における好中球関連サイトカインの検討		
研究責任者	井田 弘明		
説明者	井田 弘明	出席形態	対面
説明者	日高 由紀子	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	説明者	
	第3号委員 説明文書2頁4.ii)①「研究用にあなたの血液を8mLとらせていただきます。この研究のために、血液をとらせていただくのは1回(8mL)のみです。」とあるが、説明文書5頁6.ii)では、「同じ採血法で22mLの採血を1回実施するため…」とある。	本日、修正版を提出している。8mLが正しい。	
説明者退室後に審議がなされた			
審議内容	第1号委員 誤字脱字等を修正していただいたうえでの軽微な継続審査としてよろしいか。		
審査結果	継続審査		

2)

研究番号	25086		
申請区分	新規		
単独/多機関	多機関共同研究（学内一括審査） 代表機関：久留米 共同研究機関：1		
研究課題名	高齢発症関節リウマチ患者におけるクローン性造血の関与の検討		
研究責任者	井田 弘明		
説明者	井田 弘明	出席形態	対面
説明者	日高 由紀子	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	説明者	
	第1号委員 研究手法で、クローン性造血を見る際に	RNAシーケンスで配列をみて、DNAで確認する予定である。	

	RNAシーケンスをされると記載されている。DNAが多いかと思うがどうか。	
	第1号委員 二段階で、スクリーニングはRNAでされるということによいか。	はい。
	第3号委員 研究計画書6頁8.(1)目標症例数と説明文書5頁5.i)対象者の人数が異なる。	説明文書5頁の記載が異なっている。
	第3号委員 研究計画書11頁13.(2)5⑤対策の内容が「外部の業者へ委託する」となっているが、適切ではないのではないか。授受の確認が出来る方法で行うなどの記載が必要ではないか。説明文書8頁も併せて修正が必要である。	安全対策の意味がよく分からなかった。血液が破損して感染する等の安全対策かと思った。個人情報の安全という意味か。
	第1号委員 両方含まれると思う。追跡が出来るような業者に依頼する等の記載でよいと思う。	訂正する。
	第3号委員 説明文書8頁⑥も同様に修正が必要である。	
	第1号委員 説明文書と同意書の項目番号がずれている為、齟齬のないように修正が必要である。	はい。
説明者退室後に審議がなされた		
審議内容	第1号委員 誤字脱字等を修正していただいたうえでの軽微な継続審査としてよろしいか。	
審査結果	継続審査	

3)

研究番号	25102
申請区分	新規
単独/多機関	単独研究
研究課題名	神経膠腫における腫瘍微小環境の探索

研究責任者	古田 拓也		
説明者	古田 拓也	出席形態	対面
実施体制内の委員	第1号委員（所属長及び研究分担者）	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	説明者	
	第1号委員 情報公開文書1頁「本研究で使用される 試料・診療情報等は他機関への提供は行 いません」とあるが、この記載で問題ない か。	患者情報を提供する為、修正が必要かと思 う。	
	第3号委員 情報の授受の箇所が記載不十分ではない か。		
説明者と実施体制内の委員退室後に審議がなされた			
審議内容	第1号委員 文言の不備や、情報公開文書の修正等をしていただいたうえでの軽微な継続審査として よろしいか。		
	第3号委員 同意書と同意撤回書は不要なのか。		
	第1号委員 口頭である。同意撤回書はあってもよいかもしれない。		
	事務局 どちらでもよい。同意書を作成される場合は必ず同意撤回書の作成もお願いしている。 必要に応じて作成されてもよい。		
	第1号委員 必須ではないということである。		
審査結果	継続審査		

4)

研究番号	25093		
申請区分	新規		
単独/多機関	単独研究		
研究課題名	関節運動に同期した神経筋電気刺激と抵抗運動の併用による動的ストレッチングの研究		
研究責任者	松瀬 博夫		
説明者	牧 悠之（研究分担者）	出席形態	対面

概要説明	研究の概要について説明がなされた	
質疑応答	委員	説明者
	第 3 号委員 今回は、研究協力機関はないのか。	ない。
	第 3 号委員 計画書や説明文書に研究機関という文言の記載があるので、修正が必要である。	はい。
	第 1 号委員 説明文書と同意書の番号に齟齬がある為、修正が必要である。	
	第 3 号委員 対象者は健常者であるが、リハビリテーション外来受診時に直接募集とある。怪我は健常者がということか。	リハビリテーション外来で受診され、除外基準を満たさない方で考えている。
	第 1 号委員 他施設はなく、本学のみか。	はい。
	第 1 号委員 各施設と記載されている為、修正が必要である。	医療センターは含める予定である。
	第 1 号委員 大学病院と医療センターということ、明記していただく必要がある。	
説明者退室後に審議がなされた		
審議内容	第 1 号委員 文章の整理が必要な箇所が何点かある為、そこを修正していただいたうえでの軽微な継続審査としてよろしいか。	
審査結果	継続審査	

5)

研究番号	25105		
申請区分	新規		
単独/多機関	単独研究		
研究課題名	多機関共同研究（学内一括審査） 代表機関：久留米 共同研究機関：1		
研究責任者	松瀬 博夫		
説明者	松瀬 博夫	出席形態	TV 会議
概要説明	研究の概要について説明がなされた		

質疑応答	委員	説明者
	第 2 号委員 謝礼の財源はどこにあるのか。	研究計画書 19 頁 16.に記載している通り、 労災疾病臨床研究事業費補助金から支払う。
	第 3 号委員 認知量検査のM o C A - J の 26 点未満 というのは代諾者を必要とする認知機能 レベルか。	認知症の軽い方もいるが、対象者全て、代諾 者からの同意取得を行う予定である。
	第 3 号委員 両方から同意取得するということによい か。	はい。
説明者の退室後に審議がなされた		
審議内容	第 1 号委員 代諾者と本人の両方から同意を得るということを明記していただく等の修正をしてい ただいたうえでの軽微な継続審査としてよろしいか。	
	事務局 ポスターも審査資料として必要かと思う。	
	第 1 号委員 ポスターを提出していただいたうえで最終的な判断をする。	
審査結果	再審査	

6)

研究番号	25027		
申請区分	変更		
単独/多機関	多機関共同研究（学内一括審査） 代表機関：久留米 共同研究機関：1		
研究課題名	喘息非合併慢性閉塞性肺疾患（COPD）における好酸球表面抗原に関する研究		
研究責任者	川山 智隆		
説明者	川山 智隆	出席形態	TV 会議
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	なし		
説明者退室後に審議がなされた			
審議内容	第 1 号委員 文言の修正等をしていただいたうえでの軽微な継続審査としてよろしいか。		
審査結果	継続審査		

7)

研究番号	25081
申請区分	新規
単独/多機関	単独研究
研究課題名	動脈狭窄および動脈瘤の 3D printer による血流モデル作成と 4D-flow MRI 解析による血栓化・病変再発リスクの後方視的検討
研究責任者	水嶋 翔平
説明者	出席なし
審議内容	第 2 号委員 作成した動脈モデルはきちんと廃棄されるのか。
	第 1 号委員 廃棄すると記載されているが、研究者に確認したほうがよい。
	第 2 号委員 試料でも情報でもない為、確認の為、質問した。
	第 1 号委員 廃棄かどうかを確認し、メールでお知らせするという事でよい。文言等の修正もある為、軽微な継続審査としてよろしいか。
審査結果	継続審査

8)

研究番号	25085		
申請区分	新規		
単独/多機関	多機関共同研究（学内一括審査） 代表機関：久留米 共同研究機関：2		
研究課題名	エナメル上皮腫の治療法選択 に関する多施設共同研究		
研究責任者	安陪 由思		
説明者	安陪 由思	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	説明者	
	第 1 号委員 研究計画書 6 頁 6.②-3「■試料を使用する」となっているが、適切なのか。	試料は使用しない為、修正する。	
	第 3 号委員 説明文書が、敬体になっていないことと、文章を分かりやすくしていただきたい。	はい。	
	第 3 号委員	新規で来院されて診断された方がのみが対象	

	再発は除外するとあり、再発までの期間を評価するとあるが、ということか。	であり、再発患者は除外している。
説明者退室後に審議がなされた		
審議内容	第 1 号委員 後ろ向きではあるが、同意を得られるものは得るということで説明文書も作成されている。文書整備等を修正していただいたうえでの軽微な継続審査としてよろしいか。	
	第 2 号委員 説明文書 5 頁 ii) と iii) の記載では、どのような方が除外になるのかがよく分からない。	
	第 1 号委員 初発の方のみと発言されていた為、初発という文言を入れていただいたほうがよい。	
	第 2 号委員 選択基準と除外基準の記載が適切ではないように感じる。	
	事務局 選択基準を満たしたうえで除外することを記載するように依頼はしている。それが上手く伝わっていない。	
	第 1 号委員 除外基準の上から 2 項目は削除していただき、その点も含めて文書整備をしていただいたうえでの軽微な継続審査としてよろしいか。	
審査結果	継続審査	

9)

研究番号	25088		
申請区分	新規		
単独/多機関	単独研究		
研究課題名	上肢と下肢の層構造解明のための超音波画像装置での観察		
研究責任者	田平 陽子		
説明者	田平 陽子	出席形態	対面
説明者	清水 圭悟	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	説明者	
	第 3 号委員 研究計画書 4 頁 6.①1.「ポスターを使用する。」とあるが、具体的にどのようなポスターなのか。	掲示板等に掲示し、ボランティアを募集する。	
	第 1 号委員 18 歳以上ということであるが、医学部の	医学部の学生は対象者として考えていない。	

	学生は対象になるのか。	
	第 1 号委員 医学部の学生は含まないということを明記したほうがよい。	
説明者退室後に審議がなされた		
審議内容	第 1 号委員 18 歳以上の学生は対象としない旨を明記することが必要である。	
	事務局 ポスターも審査資料として必要かと思う。	
	第 1 号委員 ポスターを提出していただいたうえで最終的な判断をする。	
審査結果	再審査	

10)

研究番号	25092		
申請区分	新規		
単独/多機関	多機関共同研究（学内一括審査） 代表機関：久留米 共同研究機関：1		
研究課題名	福岡県の高齢期にある在宅心不全患者の療養生活における自己管理の構造		
研究責任者	重松 由佳子		
説明者	重松 由佳子	出席形態	対面
実施体制内の委員	第 1 号委員（所属長）	出席形態	TV 会議
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	説明者	
	第 3 号委員 インタビューは対面で行うのか。	対面で行うことを考えている。	
	第 3 号委員 研究計画書 16 頁 20.「■経済的負担有【内容：インタビュー調査を WEB にて行う際には通信費用(60 分程度)が発生する可能性】は削除したほうがよい。	はい。	
	第 2 号委員 対象患者の抽出はどのようにされるのか。	循環器内科の医療機関や訪問看護ステーションへ依頼文を送付し、承諾を得られたらその施設に伺い、募集する。	
	第 1 号委員 施設長の承諾が得られたところに出向		

	き、説明されるということによいか。	
	第 2 号委員 施設長から協力していただけるのか。	
	第 1 号委員 看護学科ではよく行っている手法である。	はい。通常行っている。
	第 1 号委員 研究計画書 13 頁 12.「インタビューの回答に対して 60 分程度の時間的負担が生じる」とあるが、時間の負担だけではなく、身体的な負担もあるのではないのか。	負担が生じた際にはすぐに中止するなどの配慮をするが、本人の生活の振り返りになる内容の為、精神的負担は軽減され则认为している。説明文書にもこの内容を記載している為、身体的な負担もある旨を追記する。
	第 3 号委員 研究計画書 16 頁 17.非公開にチェックされているが間違いないか。	
	事務局 その要望がある場合は、非公開にする。知的財産や人権保護の為に承認されれば非公開とする場合がある。	倫理委員会のホームページにチェックを付ける。
説明者退室後に審議がなされた		
審議内容	第 1 号委員 時間的負担だけではなく、身体的負担もあることを追記していただくことと、情報公開の方法は倫理委員会のホームページにチェックを付けていただくことなどを踏まえたうえでの軽微な継続審査としてよろしいか。	
審査結果	継続審査	

11)

研究番号	25038		
申請区分	新規		
単独/多機関	単独研究		
研究課題名	川崎病遠隔期冠動脈炎の画像評価		
研究責任者	須田 憲治		
説明者	須田 憲治	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	説明者	
	第 3 号委員 研究計画書 13 頁 20.「謝礼有：クオカー	はい。	

	ド 2000 円分」と記載されているが、説明文書に記載がない為、記載が必要である。	
	第 1 号委員 研究計画書 9 頁 12.(1)「研究者に新たな利益は発生しない」と記載されているが、Ca スコアによって治療に影響がないのか。	数値が高い場合は、検査や投薬がある。
	第 3 号委員 送付状に「内臓肥満などが関係するのか」と記載されているが、内臓肥満の記載はどこにあるのか。	InBody で計測する為、それも追記する。
	第 1 号委員 低線量というのはどのような定義か。	技師に確認したところ難しいとの回答で、4 mSv は必要と言われた為、低線量は外すつもりである。
説明者退室後に審議がなされた		
審議内容	事務局 造影 CT をされる予定が臨床研究法の改訂で単純 CT に変え、低線量にされた経緯があったことを報告する。	
	第 1 号委員 石灰化の判断は単純 CT でよいと思う。低線量を一般の方がどれくらい理解されるのが難しい。単純 CT であれば許容かと思うが、被ばくは被ばくの為、そこを理解してもらうことが重要である。	
	第 1 号委員 低線量の設定も見直していただいたうえで、認めるということでよいか。	
審査結果	継続審査	

12)

研究番号	25054		
申請区分	新規		
単独/多機関	単独研究		
研究課題名	免疫チェックポイント阻害剤投与後に生じる皮膚関連免疫関連有害事象の病態機序の解明と抗腫瘍効果予測因子の探索		
研究責任者	古賀 浩嗣		
説明者	石井 文人（研究分担者）	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	説明者	

	第 2 号委員 研究計画書 10 頁 11.(2)①対象者が成人で、代諾者が必要とはどういうことか。	
	第 1 号委員 不要であれば外してよいかもしれない。	はい。
	第 3 号委員 研究計画書 7 頁 8.(2) ii)選択基準の(3)や(5)が見当たらない。	記載を確認する。
	第 1 号委員 おそらく誤記である。確認が必要である。	
	第 1 号委員 皮膚検体の採取は研究用か。	通常診療でも採るが、研究用に余剰に採取することもあり、両方の可能性がある。
	第 1 号委員 研究用だけではないという理解でよいのか。	はい。
	第 1 号委員 良性腫瘍の患者さんにも同じ同意書を使用するのか。	はい。
説明者退室後に審議がなされた		
審議内容	第 1 号委員 代諾者の設定に関して再度検討していただくことや、選択基準の記載整備等を行っていただくうえでの軽微な継続審査としてよろしいか。	
	事務局 説明文書 3 頁 4. ii)①「診断のために行う生検時に追加で 4mm 円形の皮膚組織を採取」とある。採取するタイミングとしては、不要な追加はないが、組織としては 4mm 採取することになる。	
審査結果	継続審査	

13)

研究番号	25071		
申請区分	新規		
単独/多機関	多機関共同研究（学内一括審査） 代表機関：久留米 共同研究機関：1		
研究課題名	人工知能技術による放射線治療計画および患者計画安全性検証の臨床における有用性の評価		
研究責任者	星田 憲人		
説明者	星田 憲人	出席形態	対面

説明者	坂口 太郎（研究分担者）	出席形態	対面
実施体制内の委員	第 1 号委員（研究分担者）	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	説明者	
	第 1 号委員 研究計画書 6 頁 7.「非劣性試験」という言葉が記載されているが、ロジックとして間違っているように思われる。また、フィージビリティ試験ではないのか。再度検討していただきたい。	はい。	
	第 1 号委員 研究計画書 6 頁 7.主要評価項目「品質を担保しつつ業務効率が改善されることを明らかにする」とあるが、どのように担保されるのか。	品質は、「統計、解析法」に記載している通りである。業務効率は作業時間で示す。	
	第 1 号委員 研究計画書 5 頁の具体的手順において、ブラッシュアップで再評価するとあるが、別に患者さんを増やしていくのか。	最初の結果で AI が至ってない場合、当院のほうで優れている場合は付け足していくが、患者さんの数は変わらない。	
	第 1 号委員 20 名の中でブラッシュアップするのか。	はい。	
	第 1 号委員 AI の精度がどの程度高まるかをみていくのか。どこかで販売される可能性があるのか。	販売予定の製品である。出来上がっているものを使い、精度を高める為の研究になる。	
	第 2 号委員 研究計画書 8 頁 11.(1)B にチェックされているが、研究計画書 7 頁 8.(2) i)には現在受診されている方という条件は無い。A が含まれるという可能性もあるのではないか。	現在受診されていない方も対象にしたいと考えている為、A も該当するのではないかと考えている。文書整備の段階で指摘があり、AI のブラッシュアップに使用するのであれば、同意は必要と言われた。オプトアウトの文書があった為、B にチェックをしている。	
	第 1 号委員 オプトアウトで進めるのか。	現状はオプトアウト無しで作成している。オプトアウトでも可能と判断していただけるのであれば、そのようにしたい。	
	第 1 号委員		

	肺癌の方である為、呼吸器内科に通院している方のデータになる。呼吸器内科で放射線治療をした後の継続の治療をしている可能性があるということで理解したほうがよい。	
	第 1 号委員 同意は取れるということか。	
	第 1 号委員 可能であると思う。	
	第 1 号委員 B のままでよいということになる。	
説明者と実施体制内の委員退室後に審議がなされた		
審議内容	第 1 号委員 文書整備のみでは不十分の為、内容を再度検討することが必要。	
審査結果	継続審査	

14)

研究番号	25076
申請区分	新規
単独/多機関	単独研究
研究課題名	久留米大学医学部医学科の医学教育カリキュラムの評価に関する研究
研究責任者	山田 圭
説明者	出席なし
概要説明	なし
審議内容	第 1 号委員 医学部と記載されているが、医学部全体的話ではない為、医学科に修正したほうがよい。
	第 1 号委員 内容的には個人の成績を取り扱うわけではなく、アンケート調査である。文書整備をしていただいたうえでの軽微な継続審査としてよろしいか。
	第 2 号委員 情報公開文書で、「無記名のアンケートですが、…破棄いたします」とあるが、そこまでしないといけないのか。
	事務局 以前の先行研究で、このオプトアウトは承認されている。今回、新規アンケートと過去のアンケートの両方を使用する。新規は同意を取るが、過去のアンケートは講義の際に取ったもので、無記名ではあるが 4 人までは特定することが出来る。オプトアウトをす

	る場合、1 人がするとなると、4 人分破棄しなければいけない。しかし、それでもよいと研究者が発言された為、承認されていた経緯がある。
	第 1 号委員 軽微な継続審査としてよろしいか。
審査結果	継続審査

15)

研究番号	25111		
申請区分	新規		
単独/多機関	単独研究		
研究課題名	日本人の顔面の血管分布の解明		
研究責任者	力丸 由起子		
説明者	力丸 由起子	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	説明者	
	第 3 号委員 研究計画書 7 頁 10.の内容で、科学的根拠と言えるのか。	どのように記載すればよいか分からなかった。	
	第 1 号委員 学生一人に対して、一人のご献体か。	一箇所のみを担当していただく。	
	第 3 号委員 研究計画書 12 頁 14.(1)「解剖後に火葬」とあるが、顔面の研究であっても全身火葬されるのか。	全身火葬する。	
	第 1 号委員 系統解剖には使用されないのか。	系統解剖で顔面をされているので、それは別研究となる。同意をいただいた方に対して実施する。	
	第 3 号委員 研究計画書 5 頁 5.解剖実施期間と記載されているが、情報公開文書では登録期間と記載されている。	解剖登録期間の間違いである。	
	第 1 号委員 2029 年 3 月まででよいのか。	40 例を実施するのにどの程度かかるかが分からない。	
	第 1 号委員 4 箇所の部位は同時に行えないのか。	出来ないわけではないが、RMCPで行うとなると研究期間も短い為、一部位のみとした。	

	第 2 号委員 ご本人は亡くなっているが、「本研究に参加されるのはあなたの自由意思です」というのは適切なのか。遺族はどのような定義か。	りんどう会に入会する方に対しても同意を取るので、複数の同意書がある。
	第 2 号委員 亡くなっている方に関しては包括同意になる。今から登録する方に関しては包括同意なのか。もしくは個別同意か。遺族というのは法律的にない。	
	第 2 号委員 最初に入会する際に、キーパーソンが定められないのか。	
	第 1 号委員 解剖学講座に方針を聞いたほうがよいかもしれない。	
	第 1 号委員 りんどう会の同意書に 3 親等以内のご親族の同意と記載されている。	
	第 2 号委員 4 親等の方が異議を訴えたらどうなるのか。	どなたかが不同意であれば、使用しない。
	第 2 号委員 反対があった際には、使用しない旨を明記したほうがよい。	はい。
説明者退室後に審議がなされた		
審議内容	第 1 号委員 ご遺族が反対されたら使用しないということなどの明記をするなど文書整備が必要である。軽微な継続審査としてよろしいか。	
審査結果	継続審査	

16)

研究番号	25103
申請区分	新規
単独/多機関	多機関共同研究（学内一括審査） 代表機関：久留米 共同研究機関：1
研究課題名	妊娠高血圧薬であるメチルドバが臍帯血の抗酸化状態に与える影響の評価

研究責任者	木下 正啓		
説明者	木下 正啓	出席形態	対面
説明者	株式会社フェリクス（共同研究機関） 國信 健一郎	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明がなされた		
質疑応答	委員	説明者	
	第 1 号委員 二群に割り付けるということではないと 理解してよいか。	産婦人科の医師の治療方針で処方を決める 為、割り付けはしない。呼びかけも行わない。	
	第 1 号委員 抗酸化作用を示すのはメチルドパ未変化 体か、メチルドパの代謝物メチルノルア ドレナリンなどか。	未変化体である。	
	第 1 号委員 メチルドパを測るということか。	はい。	
説明者退室後に審議がなされた			
審議内容	第 1 号委員 文言の修正等を踏まえた軽微な継続審査としてよろしいか。		
審査結果	継続審査		

【不適合審査】 審査結果 13 件

研究課題名	内容	結果
CDDP unfit である限局型小細胞肺癌に対する CBDCA 併用化学放射線療法の安全性と有効性を検証する多施設共同後方視的研究	学内申請不備	保留
日本外傷データベースへの外傷患者登録と登録データを用いた臨床研究	変更申請漏れ	承認
5G 通信機器で用いられる電波ばく露に対するストレス応答の研究	学外一括審査承認後に久留米大学へ届け出た	承認
上咽頭癌照射後再発への頭頸部アルミノックス治療に関する多機関共同観察研究	学外一括審査承認後に久留米大学へ届け出た	承認

網膜血管腫の臨床像と治療予後	学外一括審査依頼後に久留米大学へ届け 出た	承認
頭蓋内髄膜腫の遠隔転移 ―臨床的特徴 と分子病理学的解析による検討―	学外一括審査承認後に久留米大学へ届け 出た	承認
術後に発症した静脈血栓塞栓症とプロテ インS比活性の関連についての検討	学外一括審査承認後に久留米大学へ届け 出た	承認
頭蓋内髄膜腫の遠隔転移 ―臨床的特徴 と分子病理学的解析による検討―	学外一括審査承認後に久留米大学へ届け 出た	承認
非 β 細胞腫瘍性低血糖(NICTH)の病態に 関する検討（後ろ向きケースコントロール 研究）	学外一括審査承認後に久留米大学へ届け 出た	承認
RAS 遺伝子(KRAS/NRAS 遺伝子)野生型 で化学療法未治療の切除不能進行再発大 腸癌患者に対する mFOLFOX6+ベバシズ マブ併用療法と mFOLFOX6+パニツムマ ブ併用療法後の外科的切除における予後 因子の解析	学外一括審査承認後に久留米大学へ届け 出た	承認
尋常性白斑患者を対象としたアンケート 調査研究	変更申請漏れ	承認
エベロリムス治療中の結節性硬化症にお ける免疫能と安全性についての調査研究	学外一括審査承認後に久留米大学へ届け 出た	承認
慢性呼吸器疾患が心臓血管外科手術に与 える影響について	継続申請漏れ	承認

【本学発生の有害事象】報告 0 件

【承認案件】

① 一般審査結果：12 件	
審査結果	承認、未承認は審査中
②（新規）迅速審査結果：16 件	

審査結果	承認、未承認は審査中
③ 看護学科迅速審査結果：6 件	
審査結果	承認、未承認は審査中
④（変更）審査結果：18 件	
審査結果	承認、未承認は審査中

【報告事項】

①（新規）学外一括審査報告：4 件
②（変更）学外一括審査報告：9 件
③（新規）他機関における研究への試料・情報提供に関する報告：1 件
④（変更）他機関における研究への試料・情報提供に関する報告：0 件
⑤（新規）研究協力機関に関する報告：0 件
⑥（変更）研究協力機関に関する報告：0 件
⑦（学内）経過・中止・終了・その他報告：5 件
⑧（学外）経過・中止・終了・その他報告：3 件

【その他】

次年度の倫理審査委員会開催日程に関するアンケート調査のご協力のお願い